

看護業務の効率化 先進事例アワード2019 表彰式・事例報告会

プログラム

●第一部 開会式 (13:30~14:00)	
13:30~13:40	開会挨拶 日本看護協会 会長 福井トシ子
13:40~13:50	厚生労働省挨拶 厚生労働副大臣 橋本岳
13:50~14:00	選考委員代表挨拶 公益社団法人 日本医師会 常任理事 釜菴敏 一般社団法人 日本病院会 常任理事 園田孝志 公益社団法人 東京都看護協会 会長 山元恵子
●第二部 表彰式 (14:00~14:30)	
14:00~14:10	選考委員長挨拶・講評 九州大学 名誉教授 尾形裕也
14:10~14:30	受賞施設の表彰
(14:30~14:40 記念撮影)	
●第三部 事例報告会 (14:40~16:00)	
14:40~15:40	①最優秀賞 一般社団法人熊本市医師会 熊本地域医療センター ②優秀賞(業務改善部門) 県立広島病院 ③優秀賞(タスクシフト・多職種連携部門) 社会医療法人石川記念会 HITO病院 ④優秀賞(AI・ICT等の技術の活用部門) 訪問看護リハビリステーション アオアクア ⑤優秀賞(その他の工夫部門) 医療法人社団協友会 メディカルトピア草加病院
15:40~16:00	受賞施設との交流
16:00	閉会

主催：公益社団法人 日本看護協会



看護の力で健康な社会を！

後援

(公社)日本医師会 / (公社)日本歯科医師会 / (公社)日本薬剤師会 / (一社)日本医療法人協会 / (公社)日本精神科病院協会 / (一社)日本病院会 / (公社)全日本病院協会 / チーム医療推進協議会 / (公財)日本訪問看護財団 / (一社)全国訪問看護事業協会 / (公社)全国老人福祉施設協議会 / (公社)全国老人保健施設協会 / 認定看護管理者会

事業要旨

「経済財政運営と改革の基本方針2018」(2018年6月15日閣議決定)において、「人手不足の中でのサービス確保に向けた医療・介護等の分野における生産性向上を図るための取組を進める」ことが示されました。これを推進するため、「看護業務効率化先進事例収集・周知事業」では、看護職がより専門性を発揮できる働き方の推進や生産性の向上、看護サービスの質の向上を図るための看護業務の効率化に関する先駆的な取り組みを広く募集し、その中から汎用性が高く効果のある取り組みを選考・表彰し、周知していくことを目的としています。

表彰された取り組みについては、今後事例集・動画を作成し特設Webサイトで公表する予定です。

受賞施設

1. 最優秀賞

施設名	タイトル
一般社団法人 熊本市医師会 熊本地域医療センター	「ユニフォーム2色制」と「ポリバレンタース育成」による 持続可能な残業削減への取り組み

2. 優秀賞

【業務改善部門】

施設名	タイトル
県立広島病院	看護記録に要する時間削減の効率化への取り組み —記録内容の標準化とリアルタイム記録に焦点を当てて—

【タスクシフト・多職種連携部門】

施設名	タイトル
社会医療法人石川記念会 HITO病院	病棟薬剤師との役割委譲・協働による 病棟薬剤管理業務の見直し

【AI・ICT等の技術の活用部門】

施設名	タイトル
訪問看護リハビリステーション アオアクア	音声入力で時間短縮 残業を減らそう

【その他の工夫部門】

施設名	タイトル
医療法人社団 協友会 メディカルトピア草加病院	小規模病院における看護クラーク科の立ち上げ・ 看護クラークの一元管理による看護師負担軽減

3. 奨励賞

施設名	タイトル
国民健康保険 小松市民病院	外来病棟一元化による勤務環境改善
聖マリアンナ医科大学病院	ナースハッピープロジェクト(NHP) ～音声入力による記録時間の削減～
医療法人恵尚会 佐呂間町立診療所 クリニックさるま	へき地におけるICTを活用した多職種連携

4. 特別賞

施設名	タイトル
NTT東日本関東病院	RPA(ロボットによる業務自動化)導入による 看護管理業務の効率化
福井大学医学部附属病院	総合滅菌管理システムによる労働生産性の向上と 働き方改革の実現